

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和元年8月20日)

	ページ
1 ふるさと人口対策チーム会議の開催結果について 【ふるさと人口政策課】・・・1	1
2 「来んさいな 住んでみないや とっとり」県民会議の開催結果について 【ふるさと人口政策課】・・・2	2
3 移住定住の促進に向けた取組状況について 【ふるさと人口政策課】・・・3	3
4 空き家利活用等に関するワンストップ相談窓口の開設について 【ふるさと人口政策課】・・・4	4
5 平成30年観光客入込動態調査結果を受けた観光誘客等について 【観光戦略課】・・・5	5
6 「蟹取県ウェルカニキャンペーン」の開始について 【観光戦略課】・・・9	9
7 とっとり横断サイクリングルート(仮称)の全線ルート決定について 【観光戦略課・西部総合事務所地域振興局】・・・10	10
8 シンガポール及びベトナムでの知事トップセールス概要について 【国際誘客観光課】・・・11	11
9 米子ソウル便及び環日本海定期貨客船の運航状況と今後の利用促進について 【国際誘客観光課】・・・12	12
10 南加鳥取クラブ創立110周年記念祝賀会への参加等について 【交流推進課】・・・13	13
11 第24回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの参加結果について 【交流推進課】・・・15	15
12 韓国との交流事業の状況について 【交流推進課】・・・17	17
13 香港ブックフェア2019への出展結果について 【まんが王国官房】・・・19	19
14 台湾台中市とのまんがを活用した連携事業実施結果について 【まんが王国官房】・・・20	20
15 フラダンス日本大会 in 鳥取2019の開催について 【中部総合事務所地域振興局】・・・21	21

交流人口拡大本部

ふるさと人口対策チーム会議の開催結果について

令和元年8月20日

ふるさと人口政策課

従来のIJUターンのみならず、関係人口の増加も含め本県の人口対策を強力に推進するため、第1回目の「ふるさと人口対策チーム会議」を開催しました。

- 1 日時 令和元年7月26日(金) 午後1時から2時まで
- 2 場所 県庁第4応接室
- 3 出席者 統轄監、令和新時代創造本部長、交流人口拡大本部長、各県外本部副本部長、総務部長、地域づくり推進部長、子育て・人材局子育て王国課長、商工労働部経済産業振興監、農林水産部農業振興戦略監、各総合事務所地域振興局長、教育委員会事務局次長等
*オブザーバーとして(公財)ふるさと鳥取県定住機構も参加

<ふるさと人口対策チーム会議の概要>

- 目的 本県における人口減対策の戦略立案を行い、県全体での取組体制を強化する。
- 推進体制 チーム会議の下部組織として「IJUターンの促進」、「関係人口の拡大」、「若者の県内就職の促進」の3つのグループを設置し実動部隊として機能させる。
また、「鳥取県学生等県内就職強化本部会議」や、「来んさいな 住んでみないや とっとり」県民会議」等の関係する組織とも連携した、産学官金労言をはじめとする県民一体となった移住定住を推進する。

4 開催結果

統轄監を筆頭として部局横断で取り組むこととし、若い人の視点に立っていかに鳥取県の魅力を伝えていくかを、今までにない展開で今後取り組んでいくことが確認された。

<主な意見>

○IJU関係

- ・県外では、県・市町村人会、高校同窓会等様々なグループが集まる機会があるので、地元の情報をどのように繋げていくかが大事になってくる。
- ・山陰出身の若者を対象として都内で開催された婚活パーティーの場で、移住のPRを行ったところ、かなり反響が高かった。今後も民間の取組を活用しながら取り組んでいきたい。

○関係人口

- ・誘致企業等が、研修や周年記念パーティー等の会合を県内で開催いただく事例もあるので、Wi-Fiや宿泊施設が充実していれば、ワーケーションのパッケージとして打ち出せる可能性はある。
- ・関係者の方々のニーズをまとめ、鳥取版のワーケーションを提案していければと思う。

○若者県内就職

- ・キャリア教育で中学生が地域の人と話をする機会を設けたら、「地域の事を知らなかった」、「地域の役に立ちたい」という発言も見られた。異年齢交流等、若者の心をつかむ取組をしていきたい。
- ・地元企業の情報が、学生に届いていないといった意見があり、中部ではPR動画を倉吉駅で発信し実際に就職に繋がったケースもあった。
- ・高校の魅力化にも取り組んでいるところであり、特に実業高校は、企業や農家の協力も必要になってくることから若者県内就職Gとも連携してほしい。

○全般

- ・7月の組織改正で、県外本部と観光・交流、移住の組織が同じ本部になり、事務が進めやすくなった。巨大マーケットの窓口を強化出来たので、積極的に動いていきたい。
- ・人口増加の取組は、いかにマーケットに情報を届けるかであり、各県が行っている取組も検証、参考にして取組を進める必要がある。

「来んさいな 住んでみないや とっとり」県民会議の開催結果について

令和元年8月20日
ふるさと人口政策課

都会から鳥取県への移住定住及び本県の人口減少に関する対策について、産学官金労言の代表者に御参加いただき、標題の会議を開催しました。会議では、若者の県内定着や関係人口の拡大について意見交換し、人口減少対策及び移住定住促進に向けた様々な取組に県民一体となって取り組んでいくことが決定されました。

【具体の取組例】

- 若者定着促進 移住定住促進強化月間（8月・12月）の継続実施
「鳥取ふるさと登録アプリ」登録の働きかけ
- 関係人口拡大 都市圏（東京・大阪）における若者交流会の開催
県内の学生又は県外の本県出身学生等と県内社会人との交流

【会議概要】

1 日 時 令和元年7月30日（火）午後1時から2時まで

2 場 所 ホテルニューオータニ鳥取

3 出席者（19団体20名）

産業界（産）：鳥取県中小企業団体中央会、鳥取県商工会連合会、鳥取県経済同友会、
鳥取県農業協同組合中央会、鳥取県森林組合連合会

大学等（学）：鳥取大学、公立鳥取環境大学、学校法人藤田学院、米子工業高等専門学校

行政（官）：鳥取県、鳥取県市長会、鳥取県町村会、鳥取労働局、ふるさと鳥取県定住機構

金融（金）：(株)山陰合同銀行、(株)鳥取銀行

労働（労）：日本労働組合総連合会鳥取県連合会

報道（言）：日本海テレビジョン放送(株)、(株)新日本海新聞社

4 主な意見

- ・県外に出てもふるさとへ思いを持ってもらうため、ふるさとキャリア教育との連携や鳥取県の文化の厚みを若者に知ってもらう取組も必要。（学）
- ・企業誘致に取り組んで就職先を確保しても、人によってそれが帰って働きたい職種とは限らない。若者の定着には、地元の魅力を伝えるふるさと教育が重要。（官）
- ・資格取得のためには県外に出なければいけない職種もあり、未来人材育成奨学金などの経済的支援について、見直しや拡充をしていけば戻ってくる人が増えるのでは。（金）
- ・鳥取ふるさと登録アプリのように、若者とつながる取組はよい。こちらからの情報発信だけでなく、相手側からのニーズに応えられるようになると若者が帰ってきやすくなる。（労）
- ・鳥取ふるさと登録アプリや未来人材育成奨学金はよい取組だが、情報発信について真剣に考えていく必要がある。（言）
- ・農産物の収穫、選果、加工の体験など、第一次産業の仕事そのものを観光素材としてアピールし、関係人口を増やす取組をしていきたい。（産）



移住定住の促進に向けた取組状況について

令和元年8月20日
ふるさと人口政策課

移住希望者への魅力発信の一環として、鳥取・岡山両県が連携した現地ツアーを実施し、本県を移住先として考えるきっかけづくりの場を提供しました。また、8月は、とっとり暮らしの魅力発信強化月間として、県外からの帰省客等に対し、移住定住や若者の県外流出防止を促進するため、テレビCM等による情報発信を重点的に行いました。

1 鳥取県・岡山県連携移住体験ツアー（大人も子どもももてなしツアー）

(1) 日時・場所 令和元年8月3日（土）大阪出発～倉吉市・三朝町 [宿泊] 三朝温泉
8月4日（日）岡山県鏡野町～大阪帰着

(2) 内容

[1日目/鳥取県]

<倉吉市>先輩移住者が運営するレストランで昼食、市職員による移住施策の説明、赤瓦・白壁土蔵群散策

<三朝町>先輩移住者との交流・意見交換、三徳山・三朝温泉街散策

[2日目/岡山県鏡野町]

鏡野町職員等から移住施策の説明、先輩移住者との交流・意見交換、お試し住宅見学

(3) 参加者 10組24人（うち親子連れ3組）

[参加者の声]

- ・倉吉では、多くの先輩移住者が、レストランやカフェをひらくなどの夢をかなえている。市の相談員に住まい・店舗物件の相談にも応じてもらえることを知り、とても心強い。
- ・三朝温泉は全国的にも有名でよく知っていたが、市街地にも近く、暮らしやすそうな印象をもった。移住候補地として検討したい。
- ・当初は鏡野町を見てみたくてこのツアーに参加したが、自然豊かな鳥取県での子育てにも興味を持った。両地域の魅力を一度に知ることができ、大変参考になった。



倉吉市での先輩移住者との交流

2 帰省シーズンにおけるI・J・Uターンの取組について

(1) 夏の成人式でのPR

8月15日に開催された県西部の2町（伯耆町、日野町）の成人式に出席した新成人（計110名）に対し、若者に向けた移住・就職関係のチラシを配布し、帰省中の若者が将来Uターン・地元定住を意識することを図った。

(2) I・J・Uターンを促すCM動画の放送

8月10日（土）～18日（日）に、昨年度制作した「県内で働きたい（働いてもらいたい）人向け」、「県内にいる保護者向け」の2種類のCM動画（30秒）を民放3局で放送し、帰省客等への情報発信を実施した。



(3) 帰省客・観光客等へのPR

8月10日（土）に鳥取駅及び高速バスターミナルにおいて帰省客及び観光客を対象に移住定住関係のチラシ等を配布し、将来的な鳥取県への移住・定住を考えてもらうきっかけになるよう、鳥取市と連携してPR活動を実施した。また、倉吉駅では、デジタルサイネージに移住サイトへのQRコードを掲示した。加えて、鳥取砂丘コナン空港、米子鬼太郎空港にチラシを配架し、再度の来県と本県移住の意識向上に努めた。

[来県者の声]

- ・中国各県を観光しながら、いい移住先を探している。移住の資料がもらえて嬉しい、参考にしたい。鳥取県は自然がきれいで、楽しみ。暮らしやすそう。（鳥取駅）

3 今後の主な都市圏での移住促進イベント

東京	ふるさと回帰フェア（9/7）、鳥取・岡山連携移住相談会（11/9）
大阪	中国四国フェア（10/5）、鳥取・兵庫連携「いなばたじま来楽暮カフェ」（10/19）

※個別相談会：[東京]：8/31、9/12、28、10/10、10/26、11/21

[大阪] 8/21、9/11、14、18、25、10/9、10/16、10/23、11/6、13、16、27

空き家利活用等に関するワンストップ相談窓口の開設について

令和元年8月20日
中山間地域政策課
ふるさと人口政策課

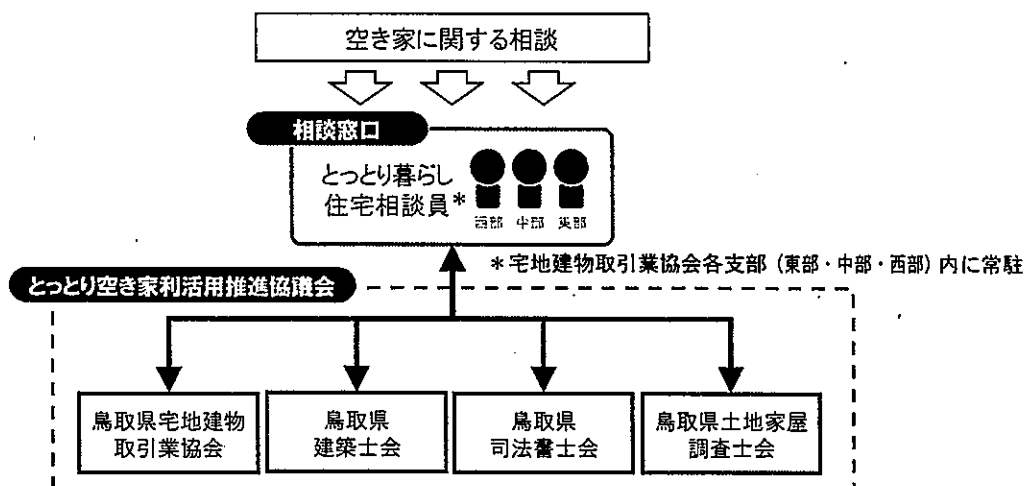
不動産に関わる専門家団体で組織する「とっとり空き家利活用推進協議会」が、県補助事業「空き家利活用団体支援事業」に基づき、空き家利活用等に関するご相談・お問い合わせを総合的に受け付けるワンストップ相談窓口を東部・中部・西部の各地区に開設し、7月17日から相談の受付を開始しましたので、概要を報告します。

1 ワンストップ相談体制のイメージ

- ・主に移住希望者向け住宅相談対応を行っている「とっとり暮らし住宅相談員（宅地建物取引士）」がワンストップ窓口となり、相談内容に応じ「とっとり空き家利活用推進協議会」を構成する専門家団体につなげることで、的確な対応を行う体制を構築した。

※「とっとり暮らし住宅相談員」・・・県が（公社）鳥取県宅地建物取引業協会に運営委託し、東部・中部・西部地区に各1名を配置。移住希望者に対して希望に沿った民間流通物件の紹介を行うほか、空き家情報の収集・発信を行っている。

ワンストップ相談受付+専門家によるサポート体制



2 ワンストップ相談窓口設置の狙い

- ・移住希望者に限らず相談先を分かりやすくすることで、空き家相談を誘引し、利活用可能な空き家物件の掘り起こしを促進するとともに、空き家所有者の不安の解消を図る。
- ・相談窓口の一元化や連携体制の構築により、相談対応の質の向上や的確なアドバイスの提供、知見や経験の共有や蓄積、相談対応力の向上等に繋がりをよくする。

3 相談窓口開設日

- ・令和元年7月17日（水）

4 とっとり空き家利活用推進協議会の概要

- ・鳥取県宅地建物取引業協会、鳥取県建築士会、鳥取県司法書士会、鳥取県土地家屋調査士会の4団体により平成28年に設立された協議会（鳥取地方法務局、鳥取県がオブザーバーとして参加）
- ・空き家所有者の不安を解消し、市場に流通していない空き家の利活用を促進し、住民のにぎわいや地域景観の保全によりまちなかを活性化させることを目的としている。

5 とっとり空き家利活用推進協議会による主な取組（H30年度）

- ・空き家、空き土地無料相談会の開催： 相談件数136件（東・中・西の延べ6会場）
- ・空き家利活用シンポジウムの開催： 智頭町（H30年9月）、倉吉市（H31年1月）

平成30年観光客入込動態調査結果を受けた観光誘客等について

令和元年8月20日
観光戦略課

観光入込客数(延人数)は増加しており、県内観光地の魅力向上の取組が一定程度成果を上げ、訪問地点数が増加しているものと思料されます。

引き続き、観光メニュー開発(世界に誇れる「星取県」ブランド化推進事業)、誘客キャンペーン(「蟹取県へウェルカニ」誘客促進事業)、国内外の航空路線の需要拡大等により誘客促進していきます。

1 平成30年観光客入込動態調査結果(抜粋)

・観光入込客数(延人数)	: 20,837千人(対前年比+1,278千人、+6.5%)
・観光入込客数(実人数)	: 9,646千人(対前年比+103千人、+1.1%)
・宿泊者数(実人数)	: 2,884千人(対前年比+469千人、+19.4%)
・温泉地入湯客数	: 1,056千人(対前年比▲7千人、▲0.6%)
・外国人宿泊者数(延べ人数)	: 194,730人(対前年比+54,200人、+38.6%)

2 傾向

(1) 国内

・平成30年の宿泊者数(実人数)は、平成29年に比べ大幅に増加した。(+19.4%)
・温泉地の入湯客数が微減(▲0.6%)であることから、シティホテル・ビジネスホテル利用者が増加しているものと思料される。
・平成30年の観光入込客数(実人数)は、平成29年に比べ微増であった。(+1.1%)
このうち県外観光客は、微減(▲0.9%)であり、8割を占める近畿・中国地方からの入込客数が6年連続で減少したほか、交通手段で見ても貸切バス、県外からの自家用車利用による入込客が減少した。特に、貸切バスによる入込客は平成26年の貸切バスの料金制度改正以降減少が続いている。

○宿泊者数(実人数)

(単位:千人、%)

区分	平成30年	平成29年	増減数	増減割合
宿泊者数	2,884	2,415	+469	+19.4

○発地別観光入込客数(実人数)

(単位:千人、%)

発地名	平成30年		対前年増減数	
	人数	構成比	増減数	増減割合
関東	502	5.2	+33	+7.0
近畿	2,548	26.4	▲59	▲2.3
中国	2,236	23.2	▲46	▲2.0
県内	3,592	37.2	+156	+4.5
合計	9,646	100.0	+103	+1.1

○利用交通機関別観光入込客数(県外・実人数)(単位:千人、%)

交通機関	平成30年		対前年増減数	
	人数	構成比	増減数	増減割合
貸切バス	393	6.5	▲21	▲5.1
列車	569	9.4	▲16	▲2.7
飛行機	291	4.8	+28	+10.6
自家用車	4,043	66.8	▲61	▲1.5
合計	6,054	100.0	▲53	▲0.9

(2) 国外

平成30年の外国人延べ宿泊者数は、誘客促進事業の成果により昨年比38.6%の大幅増(54,200人増)となった。また、主要20か国のうち17か国で増加し、特に香港は1万人を超える増加となった。

○外国人宿泊者客数(国籍別は宿泊施設従業者数10人以上の施設のみ)

(単位:人、%)

年度	H30	H29	増減数	増減割合
人数	194,730	140,530	54,200	+38.6%

国籍	H30	H29	増減数
韓国	51,460	49,580	+1,880
香港	37,670	27,530	+10,140
台湾	18,740	16,190	+2,550
中国	13,750	10,990	+2,760

3 今年度の主な取組

事業名	事業目的	予算(千円)
世界に誇れる「星取県」ブランド化推進事業	国内外における星取県の認知度及びブランドイメージ向上を図りつつ、「星取県ならではの」星空観光メニューの充実を図り、県全域の観光振興等に繋げていく。	16,500
蟹取県へウェルカニ誘客促進事業	「鳥取県＝カニ」の認知度向上及び宿泊観光誘客の拡大のため、カニシーズンの到来に合わせ「蟹取県ウェルカニキャンペーン」を展開し、首都圏をはじめとするメディアでの露出を図る。	32,427
インバウンド25万人時代に向けた海外誘客戦略拡大事業	令和4年までの外国人延べ宿泊者数25万人を目指し、国際航空便の就航を促進するとともに、航空会社・旅行会社等と連携した情報発信、定期便の利用促進等を行う。	77,006
国内航空便誘客促進事業	旅行会社や航空会社と連携して、新たな旅客の開拓を図り、国内航空便の利用拡大につなげる。	56,100

4 各種データ

(1) 県外県内別観光入込客数(実人数)

(単位:千人、%)

区分	平成30年		平成29年		前年(平成29年)との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	増減数	増減率
県外	6,054	62.8	6,107	64.0	▲53	▲0.9
県内	3,592	37.2	3,436	36.0	156	4.5
合計	9,646	100.0	9,543	100.0	103	1.1

(2) 県外県内別観光入込客数(延人数)

(単位:千人、%)

区分	平成30年		平成29年		前年(平成29年)との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	増減数	増減率
県外	15,378	73.8	14,474	74.0	904	6.2
県内	5,459	26.2	5,085	26.0	374	7.4
合計	20,837	100.0	19,559	100.0	1,278	6.5

(3) 地域別観光入込客数(実人数)

(単位:千人、%)

広域エリア名	平成30年		平成29年		前年(平成29年)との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	増減数	増減率
鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺	2,685	27.8	2,630	27.6	55	2.1
浦富海岸・岩井温泉周辺	443	4.6	449	4.7	▲6	▲1.3
八頭周辺	758	7.9	679	7.1	79	11.6
とっとり梨の花温泉郷周辺	1,166	12.1	1,265	13.3	▲99	▲7.8
東伯耆周辺	595	6.2	592	6.2	3	0.5
米子・皆生温泉周辺	988	10.2	1,095	11.5	▲107	▲9.8
境港周辺	1,785	18.5	1,552	16.3	233	15.0
大山周辺	1,070	11.1	1,111	11.6	▲41	▲3.7
奥日野周辺	156	1.6	170	1.8	▲14	▲8.2
合計	9,646	100.0	9,543	100.0	103	1.1

(4) 発地別観光入込客数 (実人数) [一部再掲]

(単位:千人、%)

発地名	平成30年		平成29年		前年(平成29年) との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	増減数	増減率
北海道・東北	35	0.4	35	0.4	0	0.0
関東	502	5.2	469	4.9	33	7.0
中部	272	2.8	273	2.9	▲ 1	▲ 0.4
近畿	2,548	26.4	2,607	27.3	▲ 59	▲ 2.3
中国	2,236	23.2	2,282	23.9	▲ 46	▲ 2.0
四国	337	3.5	314	3.3	23	7.3
九州・沖縄	124	1.3	127	1.3	▲ 3	▲ 2.4
県内	3,592	37.2	3,436	36.0	156	4.5
合計	9,646	100.0	9,543	100.0	103	1.1

(5) 利用交通機関別観光入込客数 (実人数) [一部再掲]

(単位:千人、%)

交通機関	平成30年				平成29年				増減数	
	県外		県内		県外		県内		県外	県内
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比		
貸切バス	393	6.5	18	0.5	414	6.8	24	0.7	▲ 21	▲ 6
路線バス	318	5.3	47	1.3	328	5.4	57	1.7	▲ 10	▲ 10
列車	569	9.4	23	0.6	585	9.6	33	1.0	▲ 16	▲ 10
飛行機	291	4.8	—	—	263	4.3	—	—	28	—
自家用車	4,043	66.8	3,340	93.0	4,104	67.2	3,158	91.9	▲ 61	182
タクシー	34	0.6	0	0.0	38	0.6	3	0.1	▲ 4	▲ 3
その他	406	6.7	164	4.6	375	6.1	161	4.7	31	3
合計	6,054	100.0	3,592	100.0	6,107	100.0	3,436	100.0	▲ 53	156

(6) 月別観光入込客数 (実人数)

(単位:千人、%)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成30年	559	443	664	785	921	647	775	1,605	791	845	908	703	9,646
平成29年	607	423	742	742	1,029	624	828	1,543	719	786	882	618	9,543
増減数	▲ 48	20	▲ 78	43	▲ 108	23	▲ 53	62	72	59	26	85	103
増減率	▲ 7.9	4.7	▲ 10.5	5.8	▲ 10.5	3.7	▲ 6.4	4.0	10.0	7.5	2.9	13.8	1.1

(7) 月別宿泊者数 (実人数)

(単位:千人、%)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成30年	165	170	207	216	246	204	236	382	260	269	302	227	2,884
平成29年	159	154	219	169	213	165	214	294	185	217	241	185	2,415
増減数	6	16	▲ 12	47	33	39	22	88	75	52	61	42	469
増減率	3.8	10.4	▲ 5.5	27.8	15.5	23.6	10.3	29.9	40.5	24.0	25.3	22.7	19.4

※出典:「宿泊旅行統計調査」(観光庁)

(8) 温泉地入湯客数

(単位：人、%)

温泉地名	平成30年		平成29年		前年(平成29年) との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	増減数	増減率
鳥取温泉	88,959	8.4	76,476	7.2	12,483	16.3
吉岡温泉	24,283	2.3	25,134	2.4	▲ 851	▲ 3.4
岩井温泉	10,274	1.0	12,249	1.2	▲ 1,975	▲ 16.1
浜村温泉	14,476	1.4	15,298	1.4	▲ 822	▲ 5.4
鹿野温泉	15,261	1.4	16,281	1.5	▲ 1,020	▲ 6.3
はわい温泉	112,297	10.6	122,827	11.6	▲ 10,530	▲ 8.6
東郷温泉	27,530	2.6	26,852	2.5	678	2.5
三朝温泉	346,536	32.8	356,591	33.5	▲ 10,055	▲ 2.8
関金温泉	24,118	2.3	23,340	2.2	778	3.3
皆生温泉	392,548	37.2	388,032	36.5	4,516	1.2
合計	1,056,282	100.0	1,063,080	100.0	▲ 6,798	▲ 0.6

※入湯税から算出

(9) 外国人宿泊者客数 [再掲]

(単位：人、%)

年度	平成30年	平成29年	増減数	対前年比
人数	194,730	140,530	54,200	+38.6%

観光庁宿泊旅行統計調査(確定値)外国人延べ宿泊者数(宿泊施設従業者数10人未満の施設を含む。)

(10) 国籍別外国人延べ宿泊者数(確定値)(宿泊施設従業者数10人以上の施設のみ) [一部再掲]

(単位：人、%)

国籍	平成30年		平成29年		前年(平成29年) との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	増減数	増減率
韓国	51,460	34.3	49,580	39.6	+1,880	+3.8
香港	37,670	25.1	27,530	22.0	+10,140	+36.8
台湾	18,740	12.5	16,190	12.9	+2,550	+15.8
中国	13,750	9.2	10,990	8.8	+2,760	+25.1
アメリカ	3,350	2.2	2,680	2.1	+670	+25.0
タイ	2,710	1.8	1,750	1.4	+960	+54.9
シンガポール	1,690	1.1	780	0.6	+910	+116.7
フランス	1,420	0.9	670	0.5	+750	+111.9
ドイツ	1,200	0.8	1,240	1.0	▲40	▲3.2
イギリス	1,160	0.8	750	0.6	+410	+54.7
カナダ	880	0.6	600	0.5	+280	+46.7
マレーシア	880	0.6	660	0.5	+220	+33.3
オーストラリア	790	0.5	570	0.5	+220	+38.6
ロシア	680	0.5	710	0.6	▲30	▲4.2
インド	510	0.3	150	0.1	+360	+240.0
ベトナム	440	0.3	540	0.4	▲100	▲18.5
インドネシア	400	0.3	160	0.1	+240	+150.0
イタリア	350	0.2	190	0.2	+160	+84.2
フィリピン	350	0.2	200	0.2	+150	+75.0
スペイン	270	0.2	30	0.0	+240	+800.0
その他	9,480	-	8,440	-	+1,040	-
不明	1,670	-	770	-	+900	-
合計	149,850	100.0	125,180	100.0	+24,670	+19.7

「蟹取県ウェルカニキャンペーン」の開始について

令和元年8月20日
観光戦略課

鳥取県が「カニの水揚げ日本一」であることを切り口に、「松葉がに」や「ベニズワイガニ」など「鳥取のカニ」の認知度向上と宿泊を伴う誘客対策を兼ねた「蟹取県ウェルカニキャンペーン（令和元年9月1日(日)～令和2年2月29日(土)）」を実施します。

今回のキャンペーンは、県内宿泊者を対象とした「鳥取のカニ」プレゼント企画、日帰りの方々も楽しめるよう県内を周遊するフォトラリー、流行動画タレントによるカニトリ体操動画の配信及び動画と連動した蟹取県クイズを実施します。

【キャンペーンの概要】

1 実施期間

令和元年9月1日（日）から令和2年2月29日（土）まで

2 主な実施内容

(1) 宿泊者を対象とした「鳥取のカニ」プレゼント

内容：期間中、県内対象宿泊施設（161施設）の宿泊者を対象に、応募者の中から抽選で毎月100名様（総勢600名）に「鳥取のカニ」をプレゼントする。応募方法は、応募者の利便性を考慮し、はがきに加えWEBによる応募も可能としている。

(2) フォトラリー

内容：県内11カ所の観光地を指定し、観光地3か所以上を巡って各地で撮影した思い出写真をSNS（Instagram又はTwitter）にハッシュタグ（#蟹取県井ウェルカニキャンペーン）をつけて投稿する。投稿者の中から抽選で鳥取の旬のかにや蟹取県特製オリジナルグッズをプレゼントする。

(3) 蟹取県PR動画・蟹取県クイズ

内容：県外への「鳥取＝かに」の認知度向上を図るため、流行動画タレント（ひよっこりはん）によるカニトリ体操動画を制作し、WEB特設サイトやSNS（Twitter）で配信する。動画の中で、蟹取県に関するクイズを毎月出題し、正解者の中から毎月抽選で鳥取の旬のかにや蟹取県の名産品やオリジナルグッズをプレゼントする。



【参考】昨年度の概要と実績

キャンペーン実施期間：平成30年9月1日から平成31年2月28日まで

(1) 宿泊者への「鳥取のカニ」プレゼント

（毎月100名、総勢600名様に「鳥取のカニ」をプレゼント）

- ・対象宿泊施設：県内152施設
- ・応募総数：16,759通

（内訳：男性8,788人、女性7,939人、不明32人）

<年代別>

- ①60代：24.9%、②50代：22.7%、③40代：17.8%、④70代以上：14.8%、⑤30代：10.7%、⑥20代以下：8.6%、⑦不明：0.5%

<エリア別>

- ①中国・四国：6,831通（40.8%）、②関西：5,884通（35.1%）、③関東：2,235通（13.3%）、④東海・北陸：985通（5.9%）、⑤九州・沖縄：524通（3.1%）、⑥北海道・東北：159通（1.0%）、⑦不明・海外：141通（0.8%）

<都道府県別>

- ⑥大阪（2,332通）、②兵庫（2,037通）、③岡山（1,873通）、④広島（1,755通）、⑤鳥取（1,017通）、⑥東京（910通）、⑦島根（743通）、⑧京都（604通）、⑨神奈川（532通）、⑩愛知（486通）

(2) スタンプラリー

応募総数：896件

(3) フォトコンテスト

応募総数：337件

とっとり横断サイクリングルート（仮称）の全線ルート決定について

令和元年8月20日
 交流人口拡大本部観光交流局観光戦略課
 西部総合事務所地域振興局西部観光商工課
 県土整備部道路企画課

山陰道の開通により車の通行量が減少する国道9号線沿線の地域活性化等を図るため、県内を東西に横断するサイクリングルートとして平成28年度よりコース選定を進めてきた「とっとり横断サイクリングルート（仮称）」全線のルートが、このたび、令和元年7月26日の「とっとり横断サイクリングルート等整備検討会」で決定されました。

とっとり横断サイクリングルート（仮称）を通じて、サイクリストの県東西方向の移動を促し、中国地方最高峰大山を中心に県西部地域で発展してきたサイクルツーリズムを県中部、東部に浸透させることで、全県的な盛り上がりを図ります。

また、このサイクリングルートは、島根県のサイクリングルートと接続し、中国地方知事会でルート設定を目指している中国地方5県の県境をまたぐ広域サイクリングルートの一部としても活用する予定です。

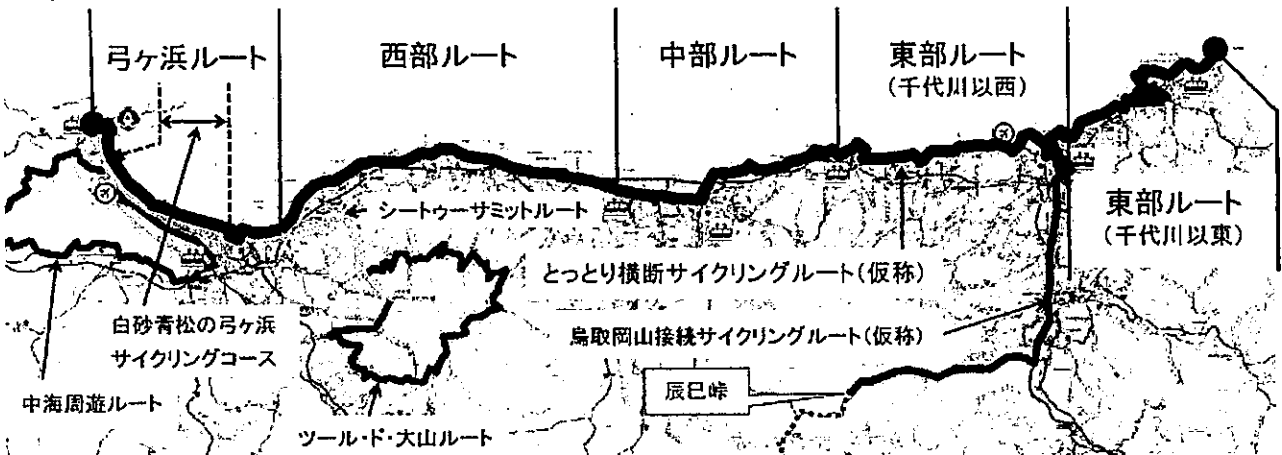
【とっとり横断サイクリングルート等整備検討会出席団体】
 鳥取県サイクリング協会、とっとりサイクルツーリズムの会、鳥取県経済同友会、鳥取商工会議所、（一社）麒麟のまち観光局、国土交通省、鳥取県警察本部、鳥取・浜村・智頭警察署、鳥取市 等

1 目的

- 山陰道の開通により車の通行量が減少する国道9号線沿線の地域活性化
- 県西部地域におけるサイクリング環境整備の取組の全県展開
- 中国地方知事会で計画されている広域サイクリングルート「日本海沿岸ルート」の県内区間整備

2 コンセプト

- 土地勘のない県外・海外のサイクリストでも、県東西方向に“迷わず”に移動できるメインルート
 ⇒安全確保を優先して迂回せざるを得ない部分を除いて、国道9号線を活用することで、サイクリストにとってわかりやすく、短い時間で移動できる直線的なルートとする（観光地や周遊ルート・サブルート等への誘導は、マップ等により行う）。



3 これまでの経過

	弓ヶ浜ルート	西部ルート	中部ルート	東部ルート (千代川以西)	東部ルート (千代川以东)
距離	約27km	約35km	約26km	約25km	約25km
ルート決定	完了 (H29)	完了 (H29)	完了 (H30)	完了 (R元)	完了 (H30)
路面標示	未了 (R元完了予定)	完了 (H29)	未了 (R元完了予定)	未了 (R元完了予定)	未了 (R元完了予定)

※弓ヶ浜ルートは、令和元年度末に全線開通予定の「白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース」等を活用。

4 今後の取組

- 令和元年度末までに、中部ルート以东の路面標示の設計・施工を完了する予定。
- とっとり横断サイクリングルート（仮称）について、サイクリストへのPRを図るとともに県民に愛着をもってもらうため、愛称募集を行う。
- 令和元年度末に全線開通予定の「白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース」の開通記念と合わせて、とっとり横断サイクリングルート（仮称）全線開通記念イベントを実施する予定。

シンガポール及びベトナムでの知事トップセールス概要について

令和元年8月20日
国際観光誘客課

本県の観光や食の魅力をPRするため、令和元年8月1日から3日にかけてシンガポール及びベトナムにおいて知事トップセールスを実施しましたので、その概要を報告します。

1 シンガポールでの主な活動

(1) 旅行博「NATAS (ナタス)」でトップセールス

- ・シンガポールからの訪日ピークシーズンである 11-12 月の旅行者獲得のため、シンガポールにおける最大規模の旅行博「NATAS Holidays 2019」へ出展し、H.I.S.シンガポールブース内の鳥取コーナーでトップセールスを実施した。



旅行博 NATAS でのトップセールスの様子

(2) 現地メディア出演

- ・シンガポール最大の中国語日刊紙「聯合早報 (ザオバオ)」の取材に応じ、知事より英語と中国語で本県の観光、食、まんが王国の魅力をPRした。
- ・シンガポール国営ラジオ放送「Mediacorp radio」の人気番組「987FM」に生放送出演し、本県の観光、食、まんが王国の魅力をPRしたところ、来県取材の申入れをいただいた。

(3) 本県ゆかりメディアとの交流会

- ・来県歴のある現地メディアやクリエイター、送客実績のある旅行会社等を招いた交流会を開催し、これまでの本県の魅力発信や本県への送客に対する謝意を伝えるとともに、協力関係の維持発展、関係者間のネットワーク拡大を要請した。
- ・参加者からは「鳥取はシンガポール人が求める自然や食の魅力がいっぱい。もっと鳥取の魅力を伝えていきたい。」といったコメントをいただき、さっそく SNS 等で交流会の様子を情報発信いただいた。

(4) 日本料理店「TEPPEI」訪問

- ・8月1日から鳥取フェアを開催中の日本料理店を訪問し、県産品の継続的な取引を要請したところ、山下哲平 (やましたてっぺい) 代表から「シーズンごとに鳥取県産品を使ったフェアを展開したい。食を通じ鳥取県の魅力発信の一助になりたい。」とのコメントをいただいた。

2 ベトナム (ホーチミン) での主な活動

(1) 日本文化体験イベント「Feel Japan」でトップセールス

- ・H.I.S.に招待いただき、毎年3万人以上が来場する日本文化体験イベント「Feel Japan」の開幕式典に出席し、本年5月に同社と本県が締結したインパウンド観光推進協定が改めて会場で披露された。
- ・同会場で H.I.S.役員と面談した際、来春にベトナム・ハノイと米子鬼太郎空港間で相互チャーター便を企画中との報告があり、成功に向けて連携していくことを確認した。



Feel Japan でのトップセールスの様子

(2) 現地メディア取材

- ・ホーチミンの地元国営テレビ局「HTV」や国会テレビ「コックホイ」等のインタビューに応じ、知事よりベトナム語と英語で鳥取砂丘コナン空港やとっとり花回廊などを紹介し、本県の観光、食、まんが王国の魅力をPRしたところ、HTVから来県取材の申入れをいただいた。

(3) ホーチミン高島屋訪問

- ・8月中旬に H.I.S.ベトナムが高島屋内に出店することから、食品売場での県産梨の取扱いに合わせて H.I.S.カウンターで鳥取旅行商品を扱うなど、物産販売と旅行商品販売のタイアップについて意見交換し、引き続き検討を進めていくこととした。

【参考】知事日程

8月1日(木)	【シンガポール】コナンバスで現地メディアに観光PR、本県ゆかりメディアとの交流会
8月2日(金)	【シンガポール】旅行博 NATAS でトップセールス、現地メディア出演、旅行会社等との意見交換会、TEPPEI (日本料理店) 訪問 等
8月3日(土)	【ベトナム】日本文化体験イベント Feel Japan でトップセールス、現地メディア取材、駐ホーチミン総領事との面談、ホーチミン高島屋訪問 等

米子ソウル便及び環日本海定期貨客船の運航状況と今後の利用促進について

令和元年8月20日
国際観光誘客課

エアソウルによる米子ソウル便及びDBSクルーズフェリーによる環日本海定期貨客船の運航状況を次のとおり報告します。

米子ソウル便、環日本海定期貨客船ともに円高ウォン安及び現在の日韓関係の影響により、韓国人の団体旅行客を中心に旅行キャンセル及び新規予約が入りにくい状況が続いており、県内の観光事業者からも心配する声が出ています。

また、日本人旅行客についても一部旅行キャンセル及び旅行控えの動きが出始めています。

1 米子ソウル便利用実績（2019年4月～7月）

月	搭乗率	総搭乗者数	韓国人搭乗数	日本人搭乗数	その他
4月（週6便）	78.1%	7,123人	5,659人	1,373人	91人
5月（週6便）	71.2%	7,122人	5,001人	2,036人	85人
6月（週6便）	71.5%	6,499人	4,675人	1,737人	87人
7月 （週6→3便）	61.2%	3,490人	<u>2,210人</u>	1,158人	122人

2 環日本海定期貨客船利用実績（2019年4月～7月）

月	乗船者数	1便当り乗船者数	韓国人乗船客	日本人乗船客	ロシア人乗船客	その他
4月（8航次）	2,248人	281人	1,970人	103人	133人	42人
5月（9航次）	2,029人	225人	1,768人	77人	118人	66人
6月（9航次）	2,461人	273人	2,214人	56人	117人	74人
7月（8航次）	771人	<u>97人</u>	<u>557人</u>	56人	104人	54人

3 今後の運航予定

- ・米子ソウル便は7月6日～8月21日まで機材整備による機材繰りのため週3便で運航していますが、8月22日から週6便運航に戻ります。
- ・9月は機材整備に伴う機材繰りのため、10日間が非運航になります。（非運航日：9月3, 5, 7, 11, 18, 19, 21, 25, 26, 28日）
- ・10月1日～26日は機材繰り及び日韓関係の影響により日・火・金曜日の週3便運航になります。

4 今後の利用対策

- ・インバウンドについては、韓国人個人客を対象として旅行会社会員向けの鳥取商品販売促進など旅行会社が販売しやすい形で連携するなど、地道な誘客活動に取り組みます。
- ・アウトバウンドについては、利用客への特典付与や地元旅行会社への送客支援強化などの利用促進策を充実させます。
- ・また、韓国以外の第3国との米子ソウル便を利用した仁川乗継旅行や環日本海定期旅客船を活用したロシアからの誘客促進など韓国以外からの誘客も進めます。

南加鳥取クラブ創立 110 周年記念祝賀会への参加等について

令和元年 8 月 20 日
交 流 推 進 課

1909 年に鳥取県から南カリフォルニア地域に移住した方々が設立した南加鳥取クラブが、創立 110 周年を迎え開催した記念祝賀会に、野川副知事が参加しました。

1 南加鳥取クラブ創立 110 周年記念行事

- (1) 日 時 7 月 21 日 (日) 午前 10 時～午後 3 時
- (2) 場 所 ラ・パルマ (ロサンゼルス市)
- (3) 参加者 約 100 名

南加鳥取クラブ 牧進会長、川口真理副会長ほか会員
来賓 松尾浩樹在ロサンゼルス日本国領事館首席領事、水谷ハッピー南加県人会協議会会長、はせがわいずみ南カリフォルニア島根県人会会長ほか南加各県人会関係者
鳥取県 野川聡副知事、遠藤俊樹交流推進課長

(4) 概 要

- ・1909 年 1 月に、鳥取県からの移住者がロサンゼルスに県人の相互扶助組織として南加鳥取県人会 (1960 年に「南加鳥取クラブ」に改称) を設立してから 110 周年を迎えるのを記念し、ロサンゼルス在住の鳥取県関係者等約 100 名が集まり、祝賀会が開催された。
- ・開会に当たり、牧進南加鳥取クラブ会長 (倉吉市出身) が挨拶を行い、同クラブの発展に向け、今後の関係各位の協力をお願いされた。
- ・来賓として、在ロサンゼルス日本国総領事館松尾浩樹首席領事、鳥取県野川副知事、南加県人会協議会水谷ハッピー会長が、お祝いの挨拶を行った。
- ・野川副知事からは、鳥取県出身岡野貞一作曲の童謡唱歌ふるさとの歌詞「志を果たしていつの日にか帰らん」の言葉を胸に数多のご労苦、心身ともに筆舌に尽くし難い苦痛を乗り越えてこられた 1 世の方々をはじめとする開拓者の長い歴史を思い、南カリフォルニアで名誉ある地位を築いてこられた先人の功績に敬意を表しながら、南加鳥取クラブの創立 110 周年をお祝いした。また、高速道路整備の進展やインバウンド客の増加など最近の鳥取県の状況や 2020 年東京オリンピックにふれながら、1932 年のロサンゼルスオリンピック三段跳び金メダリストである南部忠平氏 (元鳥取女子短期大学学長) のことなど、ロサンゼルスと鳥取県との所縁についても紹介し、南加鳥取クラブ関係者の今後の活躍について期待を表明した。
- ・記念事業では、南加鳥取クラブ婦人会による郷土料理が提供されたほか、しゃんしゃん傘踊りが披露され、母県である鳥取県を思い出しながら、会員相互の親睦が図られた。
- ・この機会に、鳥取県から、南加鳥取クラブの発展に貢献のあった次の 2 名に功労者表彰を行った。
大西収さん (元副会長、米子市出身)、川口真理さん (副会長、湯梨浜町出身)



祝辞を述べる野川副知事



南加鳥取クラブの皆様による傘踊り

2 スタンフォード大学国際異文化教育プログラム関係者との協議

- (1) 日 時 7月19日(金)午後2時30分～4時
(2) 場 所 スタンフォード大学(サンフランシスコ市パロアルト)
(3) 対 応 スタンフォード大学国際文化異文化教育プログラム専任講師 ヨシハラ・マリコ・ヤング氏
" 運営者 フナハシ・ナオミ氏

(4) 概 要

- ・平成28年度から、鳥取県教育委員会がスタンフォード大学と連携して取組を進めている県内高校生向けの遠隔講座「グローバルリーダーズキャンパス(Stanford e-Tottori)」について、同講座を担当しているスタンフォード大学国際文化教育プログラム関係者と今後の取組等について面談を行った。
- ・スタンフォード大学関係者から、日本向けのプログラムは鳥取県と初めて取り組んだものであり、大学としても期待した成果が出ていると評価しており、鳥取県側の連携に感謝するとの言葉があった。
- ・野川副知事は、8月下旬にスタンフォード大学で開催される昨年度講座にかかる優秀な学生の表彰式に本県から2名を招待していただいたことに感謝を伝えるとともに、スタンフォード大学で学んだ本県出身の偉大な経済学者故宇沢弘文先生(「自動車の社会的費用」など著作多数。「社会的共通資本」という概念を提唱。)や日系移民としてサンフランシスコに渡り、当時の日系移民の生活を描いて活躍した漫画家ヘンリー木山義喬といった本県関係者について講座の中で取り上げて頂くことを提案し、前向きな回答をいただいた。

3 桑湾鳥取県人会関係者との面談

- (1) 日 時 7月20日(土)午前9時～10時
(2) 場 所 サンフランシスコ国際空港
(3) 対 応 桑湾鳥取県人会会員前田しげる氏夫婦(湯梨浜町出身)
(4) 概 要

- ・前田氏から、年1回開催される新年会の様子など県人会の活動状況についてお聞きした。
- ・野川副知事から、鳥取県の最近の状況についてお話しするとともに、桑湾県人会の活動活性化を期待し、併せて、南加鳥取クラブ等との交流についても提案した。

4 あさひ学園サンゲール校視察

- (1) 日 時 7月20日(土)午後3時30分～5時
(2) 場 所 あさひ学園サンゲール校(カリフォルニア州サウスエルモンテ)
(3) 対 応 小川雅弘氏(日本政府派遣校長)、川口真理氏(主幹、南加鳥取クラブ副会長)
(4) 概 要

- ・南加鳥取クラブ川口副会長が主幹を務める在米日本人の子女等に対して日本の学校における学習や生活様式について学習する機会を提供する「あさひ学園サンゲール校」を視察した。
- ・同校は、アメリカの高校の校舎を借り、土曜日だけ開校しており、日本政府の支援を受け、日本の学習指導要領に基づき、日本語で日本人子女に授業を実施している。
- ・同校の施設設備等は、広さ、機能等すばらしいものであり、その環境の中で子どもたちは学習、運動等に励んでいる。

第24回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの参加結果について

令和元年8月20日
交流推進課

7月29日(月)にモンゴル国ウランバートル市で開催された「第24回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」の結果は以下のとおりです。

【サミット本会議の概要】

- 1 日時 7月29日(月) 午前9時から午後0時30分まで
- 2 場所 モンゴル国ウランバートル市「ホリデイインホテル」
- 3 テーマ 北東アジア地域間経済交流を新段階へ
- 4 参加者 モンゴル中央県知事 ジグジド・バトジャルガル
韓国江原道経済副知事 鄭 萬昊(チョン・マノ)
中国吉林省副秘書長 張 凱明(ジャン・カイミン)
日本国鳥取県副知事 野川 聡
ロシア沿海地方国際協力局長 スタリチコフ・アレクセイ
- 5 鳥取県の提案
テーマである経済交流の段階を引き上げる可能性について、各地域から観光交流の拡大、物流、空・海・陸路利用促進などについて様々な提案が行われた。野川副知事が、地域間交流の継続の重要性を踏まえ、次の提案を行った。
 - 本県でも開催されるワールドマスターズゲームズ2021 関西などの国際競技大会及び国際会議などを活用し、観光客誘客による地域活性化にこれまで以上に連携して取り組むべきであること。
 - このサミットの成果である環日本海定期貨客船 DBS クルーズフェリーが北東アジア地域を結ぶインフラとして発展するよう協力が必要であること。
 - 世界では貿易問題、紛争等が発生しているが、本サミットを通じて交流を深め、相互理解を図り世界の新時代を切り開く先陣を切っていくこと。
- 6 合意結果
 - この地方政府サミットが地域間の経済交流、環境保全に果たしてきた役割を評価し、より強固で密接な関係構築及び交流推進に向けてより一層の連携を図ること。
 - 鳥取県で開催される「第8回まんが王国とっとり国際マンガコンテスト」、「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」(2021年5月)を含む各地域で開催される様々なイベントに対して、積極的に協力しながら支援を行うことで合意した。
 - 教育、文化、スポーツ、芸術等の分野での交流を推進し、特にスポーツを通じた相互理解向上と地域間交流の推進のため、競技者同士の交流機会創出に向けて取り組むことで合意した。
 - 次回サミットの開催地域が韓国江原道に決定した。

【二地域間会談】

- 1 日時 7月29日(月) 午後4時から7時まで
- 2 場所 モンゴル国ウランバートル市「ホリデイインホテル」
- 3 会談概要
 - (1) ロシア沿海地方 スタリチコフ・アレクセイ国際協力局長
 - ・環日本海定期貨客船DBSクルーズフェリーの発展のため、インフラの整備、税関手続きの簡素化について要望を行い、同貨客船の情報発信及び利用促進に取り組んでいる本県に対して感謝の意を述べるとともに、発展について協力するとの回答を得た。
 - (2) 韓国江原道 鄭 萬昊(チョン・マノ) 経済副知事
 - ・昨今の日韓関係の悪化について憂慮の意を表し、日韓交流のモデルと評される両地域の交流を途切れることなく続けていくよう要望し、25周年事業について予定どおり実施していくことで合意した。
 - ・GTI博覧会への県内企業の出展依頼とDBSクルーズフェリーの航路維持に対して協力

依頼があった。

(3) モンゴル中央県 ジグジド・バトジャルガル知事

・鳥取県産品の中央県での販売店設置可能性の検討、モンゴル及び中央県産商品の本県内での販路開拓の模索及び技術研修生の受け入れについて依頼があった。

(4) 中国吉林省 張凱明 (ジャン・カイミン) 副秘書長

・物流やインフラ整備などの交通網の交流、ADAS・EVプロジェクトによる交流、観光交流及び青少年交流の推進について依頼があり、連携して取り組むことで合意した。

【第21回北東アジア美術作品展示会開幕式】

- 1 日 時 7月29日(月) 午後2時30分から3時まで
- 2 場 所 モンゴル国ウランバートル市「モンゴル国立絵画ギャラリー」
- 3 内 容 当該展示会は7月29日(月)から同月31日(水)までの3日間、モンゴル国立絵画ギャラリーで開催され、鳥取県からの出品15作品を含むサミット参加5地域からの美術作品を集めて展示・公開された。野川副知事は、開幕式に来賓として出席し、テープカットを行った。



【サミット本会議】



【美術作品展での作品説明】

韓国との交流事業の状況について

令和元年8月20日
交流推進課

7月1日の日本政府の韓国向け輸出管理の強化の発表以降、県内でも韓国との交流事業に影響が出ていますが、民間交流を含め、様々なチャンネルでの交流事業の実施に向け、取組を進めているところです。

1 これまでに実施した事業・これから実施する事業

(1) 実施済みの事業

【県事業】

事業名	担当課
第18回江陵国際青少年芸術祝典への芸能団派遣(7/23-30、派遣)	交流推進課
3地域青少年スポーツ交流事業(7/24-28、受入)	交流推進課

【市町村事業】

市町村名	事業名
八頭町	小学生交流(江原道横城郡、8/4-8、派遣)

【民間交流等(県が把握している事業)】

主催者	事業名
東部日韓親善協会	清州国際交流会との交流事業(7/23-26、受入)
鳥の劇場	高校生演劇交流(京畿道安山市、8/6-11、派遣)

(2) 実施予定の事業

【県事業】

事業名	担当課
大学生交流(8/25-30、派遣)	交流推進課
25周年記念事業(9月上旬、派遣)	交流推進課
第15回環境衛生学会(10/8-11予定、受入)	衛生環境研究所
障がい者福祉交流事業(10/15-17、受入)	障がい福祉課
GTI国際投資・貿易博覧会(10/17-20、派遣)	通商物流課
25周年記念事業(11月、受入)	交流推進課

【民間交流等(県が把握している事業)】

主催者	事業名
倉吉文化団体協議会	写真展交流(江原道東海市、8/23-27、派遣)
南部町 祐生出合いの会	南部町韓国交流25周年記念「韓国の女性たちがこめた希(ねがい展)」(8/31～、南部町内での展示会)

2 中止または延期となった事業

日韓関係の影響により、韓国側から交流事業の中止・延期の申出があったもの。

【県事業】

事業名	影響
日韓水産セミナー(8/27-30、派遣)	無期限延期
児童生徒交流(10/15-18予定、受入)	中止の申出あり

【県議会】

事業名	影響
議会交流(9/1-4、派遣)	無期限延期

【市町村事業】

市町村名	事業	影響
鳥取市	議会交流（忠清北道清州、10月、派遣）	延期
八頭町	小学生交流（江原道横城郡、7/26-30、受入）	延期
倉吉市	中学生交流（全羅南道羅州市、8/2-6、受入）	中止
智頭町	中学生交流（江原道楊口郡、8/1-4、受入）	中止
	職員相互派遣（江原道楊口郡、9月から1年間、受入）	実施未定
大山町	中学生交流（江原道襄陽郡、8/6-9、受入）	中止
若桜町	職員相互派遣（江原道平昌郡、10か月間の受入）	実施未定
	小学生交流（江原道平昌郡、10月頃、受入）	中止

【民間交流等で県が把握している事業】

主催者	事業	影響
鳥取環境大学	大学生相互交流（清州大学、8/13-16、派遣） （同上、8/20-23、受入）	中止
鳥の劇場	高校生演劇交流 （京畿道安山市、7/27-28、受入）	相手方の申出により高校生来県が中止 （演劇スタッフは来県）
湯梨浜未来ライオンズクラブ	日韓友好のキックオフ IN 羅州 （全羅南道羅州市、8/17-20、派遣）	中止

香港ブックフェア2019への出展結果について

令和元年8月20日

まんが王国官房

鳥取県との間に定期航空路を有する香港及びその周辺地域に対し、まんがの知名度を活かして本県をPRするため、昨年度に続き香港ブックフェアに出展しました。

香港ブックフェアは、香港貿易発展局が主催する香港最大規模の展示会です。会期中に大規模デモがあったにも関わらず、ジャパンパビリオンは例年同様多くの来場者でにぎわいました。

- 1 開催期間 令和元年7月17日(水)～23日(火)(7日間)
- 2 開催場所 香港コンベンション&エキシビジョンセンター ジャパンパビリオン
- 3 来場者数 9.8万人(平成30年度実績:104万人)
- 4 出展内容

(1) ブース展開(17日～23日)

- ・「星取県デザインブースグラフィック」「まんが王国とっとり満喫周遊バスの販売促進」「鬼太郎、コナンとの写真撮影会」「インターネットを活用した拡散イベント」「ワークショップ」等によりまんが王国とつとりをPRした。
- ・鬼太郎、コナンをアイキャッチにした展開は人目を引き、多くの来場者が当県ブースへ立ち寄った。
- ・ブースへの立ち寄り客からは「鬼太郎、コナンが大好き」「ゆかりのまんが施設に行ってみたい」という声が多数聞かれた。

(2) ステージイベント(19日・20日)

- ・専用ステージで「鬼太郎下駄飛ばし&鳥取県クイズ大会」を実施し、まんが王国とつとりをPRした。
- ・鬼太郎、コナンも出演。彼らが出演する当県のステージは毎年人気があり、今回も50～60名程度の観覧席は満席で、更に、立ち見が出るほどの人気ぶりだった。
- ・鬼太郎、コナンの登壇時には歓声があがり、写真撮影する姿が多数見られた。クイズにも積極的に手が挙がり、これらのイベントを通じて本県の認知度向上を大いに図ることができた。



にぎわう鳥取県ブース



ステージには鬼太郎コナンも出演



立ち見が出るほどの人気ぶり

5 その他

- ・ジャパンパビリオンには、本県以外に15の自治体(埼玉、新潟、京都、兵庫、和歌山、鹿児島、沖縄、福井&石川、長野&富山、四国(香川・徳島・愛媛・高知))、(株)KADOKAWAやドンキホーテなどの民間企業、日本政府観光局(JNTO)などの団体がブース出展し、官民一体となって日本への観光誘客促進に取り組んだ。
- ・会期中に京都アニメーション火災事件が発生したこともあり、まんが関連施設の人気投票パネルにおいて、京アニゆかりの施設の欄に「Pray for 京アニ」とコメントが書かれるなど、事件被害を悼むファンの声が多数寄せられていた。

台湾台中市とのまんがを活用した連携事業実施結果について

令和元年 8 月 20 日
まんが王国 官房

台湾台中市は、昨年鳥取県と友好交流協定を締結し、今秋には過去最大規模の連続チャーター便運航が控えるなどインバウンド戦略上の重要性が高まっています。市政府と連携し、イベント出展を通じてまんがを活用した情報発信を実施し、「まんが王国とっとり」の認知度向上、観光誘客を図りました。台風接近直後の悪天候下にも関わらず、ステージイベントには超満員の観客が詰め掛けました。

1 「台中温泉祭 (2019 台中好湯温泉季)」における PR

(1) 催事概要

台中市東部の「谷関温泉」において台中市政府観光旅遊局主催で例年開催されている催事。通常の観光 PR に加え、今回特別な取組として漫画作品展やコスプレ撮影会等が実施された。今年の会期は 8 月 10 日 (土) から 11 日 (日) まで。

(2) 出展結果

ア 出展期日 8 月 10 日 (土)

イ 出展内容および時間

① ブース展開 (午前 10 時から午後 6 時まで)

会場内にまんが王国とっとりブースを設置し、まんがキャラクターを活用したパンフレットや台中チャーター便を PR するチラシを配布する等、本県 PR を行った。

② ステージイベント (午前 11 時 30 分から正午まで) ※観覧席の定員を超える 200 名以上が観覧した。 着ぐるみ (鬼太郎君、コナン君) が登壇し、クイズ大会や撮影会等を行う PR イベントを開催した。

2 「台中国際動漫博覧会」における PR

(1) 催事概要

台中駅近くの文化資産園區 (文化活動施設) において台中市政府新聞局主催で開催されている催事。イラスト・フィギュア等の展示、クリエイターによる講座や音楽イベントなどの文化イベントが開かれ、例年 2 万人を超える来場者で賑わう。今年の会期は 8 月 9 日 (金) から 26 日 (月) まで。

(2) 出展結果

ア 出展期日 8 月 11 日 (日)

イ 出展内容及び時間

① ブース展開 (午前 10 時から午後 6 時まで)

会場内にまんが王国とっとりブースを設置し、まんがキャラクターを活用したパンフレットや台中チャーター便を PR するチラシを配布する等、本県 PR を行った。

② ステージイベント (午後 1 時から 1 時 30 分まで) ※観覧席の定員を超える 250 名以上が観覧した。 着ぐるみ (鬼太郎君、コナン君) が登壇し、クイズ大会や撮影会等を行う PR イベントを開催した。

3 来場者の反応等

○ブースにおいて「鳥取県への訪問方法」についての質問があった。チャーター便のチラシを手渡し説明し、是非利用していただきたい旨を伝えたところ、興味を示し熱心に目を通す姿が見られた。

○ステージイベントにおいては、鬼太郎君とコナン君の登場に多くの歓声があがり、彼らとの撮影会には 100 組を超える希望者が長蛇をなした。また、本県の PR を含めたクイズ大会にも多くの観覧者が参加し、本県へ親しみを持っていただくことができた。そうした観覧者から鳥取県を訪問してみたいという声も聞かれた。



ブース展開 (台中温泉祭)



ステージイベント (台中温泉祭)



ステージイベント (台中国際動漫博覧会)

フラダンス日本大会 in 鳥取 2019 の開催について

令和元年 8月20日
中部総合事務所地域振興局

8月30日～9月1日の3日間、県中部において「モク・オ・ケアヴェ・インターナショナル・フラ・フェスティバル日本大会 in 鳥取 2019 (フラダンス全国大会)」を開催します。

この大会は、“日本のハワイ”を有する県中部に全国のフラダンスの愛好家を招き、地域の観光振興を図ることを目的に、県中部の官民とKNT(近畿日本ツーリスト)ーCT(クラブツーリズム)ホールディングス株式会社が連携して開催するもので、今年で2回目となります。

1 モク・オ・ケアヴェ・インターナショナル・フラ・フェスティバル日本大会 in 鳥取
毎年ハワイ島で開催されるフラダンスの世界大会への出場権をかけた日本の予選大会であり、「コンペティション(競技部門)」のカテゴリー優秀グループは世界大会への出場権を獲得できる。

2 大会概要

(1) 期 日 令和元年8月30日(金)～9月1日(日)

(2) 会 場 鳥取県中部(主会場:倉吉未来中心)

(3) 内 容

○主会場

- ・コンペティション(競技・2部門(46歳以上(現代フラ)・13歳以上(現代フラ、古典フラ))
- ・エキシビション(日頃の練習の成果を披露)
- ・ワークショップ(本場ハワイメンバーによる直接指導のセミナー)
- ・ハワイメンバーによるステージ
- ・観戦料 SS席6,000円、S席5,000円、A席3,000円(前売価格)
※3階席(B席)については、1市4町民へ無料開放

○主会場以外

中部管内各地域でのフラダンスイベントの開催

- ・琴浦町:交流フラ
日にち・場所 8月29日(木) 県立琴の浦高等特別支援学校
内 容 ハワイメンバーの指導により、生徒が本場のフラを体験する。
- ・北栄町:フラ講座
日にち・場所 8月29日(木) 北条農村環境改善センター
内 容 ハワイメンバーによるハワイの歴史・自然との共生をテーマに講演や風車の町北栄町とのつながりから「風」にまつわるフラのセミナーを開催する。
- ・湯梨浜町:前夜祭
日にち・場所 8月30日(金) 東郷湖羽合臨海公園ハワイ夢広場
内 容 ハワイメンバーによるステージや参加フラ教室によるエキシビション
- ・三朝町:三徳山奉納フラ
日にち・場所 8月31日(土) 三徳山三佛寺
内 容 ハワイメンバーが大会開催の無事等を祈り、フラダンスを奉納する。
後夜祭
日にち・場所 8月31日(土) キュリー広場
内 容 ワークショップにおいて、参加フラ教室がハワイメンバーから指導受けた成果を披露する。

(4) 実施体制

モク・オ・ケアヴェ・インターナショナル・フラ・フェスティバル日本大会 in 鳥取実行委員会

名誉顧問:平井伸治鳥取県知事、鳥取中部ふるさと広域連合長

会長:岩崎元孝(一社)鳥取中部観光推進機構会長

委員:KNTーCTホールディングス株式会社、鳥取県、中部1市4町、中部管内観光協会、旅館組合、日本交通(株)倉吉営業所、日ノ丸自動車(株)倉吉営業所など

事務局:(一社)鳥取中部観光推進機構

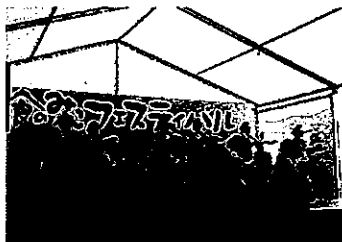
(5) その他

○鳥取空港やJR倉吉駅において、フラダンスを感じていただける装飾を施し、来場者等を歓迎する。

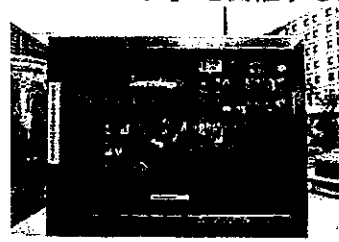
○主会場において、地元の食やお土産品を楽しんでいただく「B級グルメフェスタ」を開催する。



【PR用動画撮影】



【地域まつりPR】



【倉吉駅前PR看板】

